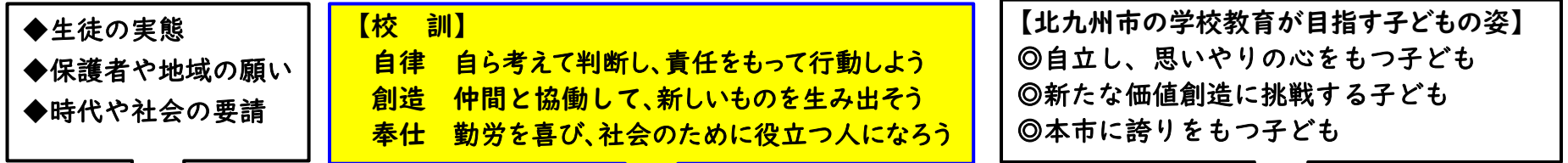
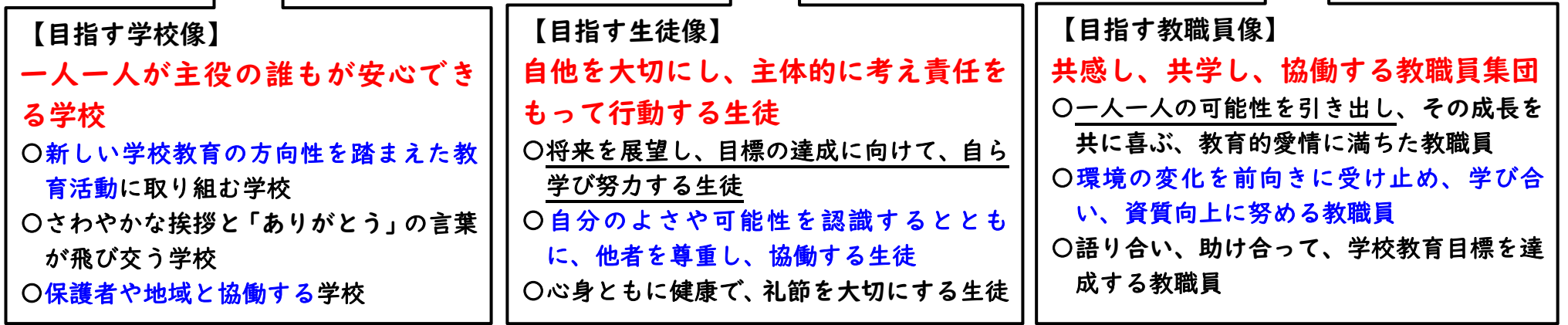


令和6年度 北九州市立大蔵中学校 学校経営方針



【学校教育目標】
「校訓」の精神のもと、**自他を大切にし、考えて行動できる生徒**の育成



【3つの重点目標と具体的方策】

1. 時代を切り拓く力の育成	① アクティブ・ラーナー を育てる授業づくり	◎ <主体的・対話的で深い学び>の視点に立った授業づくり ・ 探究の過程 (①課題を見出し、②解決の見通しを立て、③実行し、④振り返って次の課題発見へ)を発展的に繰り返すことで 主体的に課題を発見し、解決する力 を育む。 ・「めあて」「まとめ」「話し合う活動」「書く活動」など、 <u>学習のねらいを意識した授業づくり</u> を行う。 ・ICTを効果的に活用して、《個別最適な学び》と《協働的な学び》を推進する。 ◎ <指導と評価の一体化>を図った授業づくり ・評価の場面や方法を工夫し、指導の改善や学習意欲の向上を図る。
	② 家庭学習の定着と充実	◎家庭と連携した取組 ・自主的に目標を設定→計画的に家庭学習に取り組むようにする。 ◎個に応じた 補充的な学習 ・週末課題の取組 ・蔵中ノートの充実 ・ ドリルアプリの活用
	③ SDGsの視点を踏まえた学級活動の実践	◎学級ごとの 目標設定と主体的な取組 ◎大蔵 CultureWeek 等における発表 ⇒全校・家庭・地域での共有 ◎ 英語で発信 私たちのSDGs
	④ 読書活動の推進	◎「身近に本、気軽に読書」の取組 ・「朝の10分間読書」の推進 ・生徒会活動と連携した「学級文庫」「ミニ図書館」の運営 ・各教科、総合的な学習の時間における[調べ学習]での活用の推進 ◎ 感想文や視写等、書く活動の充実
	⑤ 運動習慣の定着	◎「保健体育の授業が楽しい」という生徒の育成 ◎学級活動や生徒会活動及び家庭と連携した計画的・継続的な取組
	⑥ 組織的な食育の推進	◎学校給食を「生きた教材」とした取組 ⇒様々な学習活動において「食に関する指導」を実践する。 ◎栄養教諭や養護教諭と連携した取組 ・給食時のミニ食育講座 ・ICTを活用した資料提示、調べ学習
2. 安心な学びの場づくり	① 豊かな心の育成	◎豊かな情操を育む文化芸術事業の実施 ◎道徳科の授業の質の向上 ・「考え、議論する道徳」の実現 ・ICTを効果的に活用した資料提示や意見交流 ◎ 人権尊重の理念の認識と人権感覚の育成 ・「人権教育教材集『新版いのち』」や「北九州子どもつながりプログラム」を活用する。 ・感染症や外国籍等に起因する偏見や差別を生まない取組を推進する。 ◎ 情報モラル教育の推進 ・機会を捉えた日常的な啓発 ・家庭との連携、啓発
	② いじめ・長期欠席の未然防止・早期対応の取組の推進	◎教育相談活動の充実 ・ 学期に1回以上のアンケートによる実態把握 ・ 相談しやすい環境作り ◎ 早期発見・きめ細かな対応を図る校内組織体制の充実 ・ 専門家や関係機関との積極的な連携 ◎ いじめの未然防止の取組 ・「中学校区ミーティング」による児童生徒の自主的・自発的な取組 ◎多様な学びの場の確保 ・オンライン授業 ・ステップアップルーム ・関係機関との連携
	③ 防災・減災教育の推進	◎地震・津波、火災、豪雨等を想定した 実践的な避難訓練の実施 ◎いのちをつなぐ未来館防災WEB動画の活用
3. 働きがいのある学校	① 業務改善の推進	◎『 学校における業務改善プログラム<第3版> 』を踏まえた 業務改善の推進 ◎ 新しい部活動の在り方の推進
	② 高め合う職場づくり	◎校内職員研修の充実 ・ 自己申告授業研修 ・ICT活用研修 ・ 指導と評価研修 等 ◎ 協働する中でのOJTの充実 ・OFF-JTとOJTの連動